

連合長野 [8月]



2013.8.30
No.351

発行/日本労働組合総連合会
長野県連合会
発行人/根橋 美津人

〒380-8545 長野市県町532-3 労働会館3F TEL 026-234-1626 FAX 234-1349
E-mail info@rengo-nagano.jp http://www.rengo-nagano.jp/

誰もが働き つながることができる 希望と安心の社会に向け 新たな創造と挑戦のステージへ!

連合東海ブロック(静岡・愛知・岐阜・三重・長野 各地方連合会)は、7月29日から30日にかけて、諏訪市のRACO華乃井ホテルにおいて「連合東海ブロック2013政策研究集会」を開催した。

各県からは、政策担当者・役員・推薦議員・一般参加者など約145名の参加が有り、連合長野からも三役・執行委員・地協役員・推薦議員・高退連等45名が参加した。

本年は、連合が2年前に社会像として掲げた「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけ、概ね2020年までに実現することを念頭に、その運動について考え、具体政策について議論した。

初日は、土肥和則連合東海ブロック代表幹事(連合愛知会長)のあいさつの後、信州大学経済学部の井上信弘教授から「安心社会をつくる～これからの労働組合に望むこと～」

と題して基調講演、川島千裕連合総合局長からの課題提起が行われた。

その後のパネルディスカッションでは、井上教授をコーディネーターとして、パネリストには太田長野県商工労働部長、増田NPO法人長野県みらい基金理事長、羽田参議院議員、中山連合長野会長により、それぞれの立場で「働くことを軸とした安心社会」実現に向けた課題と役割について、考え・思いを語っていただき、論議・検討した。



それぞれの立場から意見交換(シンポジウム)

2日目は、「『働くこと』につなげる5つの『安心の橋』」をそれぞれ5分散会のテーマとして、各地方連合会の取り組みや課題について意見が交わされた。

この研究集会は、異なった地域、様々な立場から参加することにより、視野や考え方の幅も広がり、その中から良い方向を導き出すことのできる良い機会である。来年は愛知県での開催となるが、多くの方に参加いただきたい。

連合が掲げる5つの「安心の橋」

- I 教育と働くことをつなぐ
- II 家族と働くことをつなぐ
- III 働くかたちを変える
- IV 失業から就労へつなぐ
- V 生涯現役社会をつくる



真剣に聞き、考える参加者

「働くこと」を支え、「働くこと」につなげるための
5つの「安心の橋」を架けよう!

連合東海ブロック2013政策研究集会開催

組合員の心のこもった25,400羽の千羽鶴を 広島・長崎に献上 2013平和行動in広島・長崎へ代表団を派遣

広島平和行動「2度と同じ悲劇を繰り返してはいけない」と胸に誓った

広島親子代表団は5日、呉市海事歴史科学館大和ミュージアムを見学し、当時のものづくり産業の技術力の高さを知り、また、戦艦大和の最後の船長が上伊那郡朝日村(現在の辰野町)出身であることなどを子どもたちが知る良い機会ともなった。

午後は、広島平和記念公園でのピースウォークに参加し、連合広島青年委員会の方々の説明を受けながら、献上している折鶴の由来である、被爆による白血病で亡くなられた佐々木禎子さんを悼んで建てられた『原爆の子の像』など、公園内に建立された慰霊碑を回り、また、連合長野の独自行動として『平和資料記念館』を見学した。その後、上野学園ホールで開催された『連合2013平和広島集会』に出席。集会前には、子ども代表団による折鶴献上が行われ、当地方連合会の子ども代表団も17,400羽の折鶴を献上した。

集会では、被爆者で現在も闘病している坪井直(すなお)さん(88歳)による被爆体験の証言も行われ、当時の生々しい様子が目に浮かぶようであった。出席した代表団は、それぞれに「2度と同じ悲劇を繰り返してはいけない」と胸に誓った。

その後、広島平和記念公園に戻り、20時からの連合主催によるピースキャンダルに参加し、長い1日を終えた。

翌日は、広島市主催の「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」に参列し、会場に集まった50,000人の方々とともに黙とうを捧げた。

参加した子どもたちは、戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさを知り、自由研究や新聞にまとめて「友だちにも広めたい」「家に帰ったら家族に話す」などと話しており、深く胸に残ったものと思う。



折鶴を献上する子ども団員(平和広島集会々場で)



ピースウォーク(原爆ドーム前で)

はたらくみんなの
ミカタ PROJECT

ろうきんカードローン

はたらくみんなの

マイプラン



●表示金利は、2013年8月8日現在の金利です。●お借入金利は、お取引内容や審査結果等により異なります。●金利引き下げ制度：ろうきん住宅ローンをご利用の方は年0.1%、当金庫システムにて給与予定可給与振込契約がある方は年0.1%を、それぞれ店頭表示金利からお引きいたします。●審査の結果、ローン利用のご希望にそえない場合がございます。●事業性資金・投機的資金としては、ご利用いただけません。●ご契約期間は1年ごとの自動更新となります。●店頭にて説明書をご用意しております。●詳しくはお近くの〈長野ろうきん〉にお問い合わせください。

イ キ イ キ シアワセ

ご融資の相談は フリーダイヤル 0120-1919-48 平日/9:00~17:00 土・日曜日/10:00~17:00

[祝日及び振替休日(土・日曜日が祝日の場合は営業)、年末年始(12月31日~1月3日)、ゴールデンウィーク(5月3日~5月5日)を除く]

長野ろうきん 検索

インターネットで「マイプラン」の
仮審査申込ができます。

会員労働組合
ご加入の
組合員の方

〈保証料込み〉
年

最大引き下げ後金利

店頭表示金利

2.7%~4.7%

一般勤労者
の方

〈保証料込み〉
年

最大引き下げ後金利

店頭表示金利

3.1%~5.1%

※審査内容により、年5.9%の金利が適用となる場合があります。

●ご利用限度額：最高300万円(10万円単位) ※所属会員、雇用形態により異なります。

●変動金利型(金利は年4回見直しをします。) ●無担保

カードローン「マイプラン」はお借入れ総額が法律で規制される「総量規制」の対象外です。

連合長野は、8月4日～6日の平和行動in広島へ高橋精一副会長(自治労)を団長に親子代表团20名、8日～10日の平和行動in長崎に小林副会長(農団労)を団長に13名の団員を派遣した。

この平和行動は、連合の主催により『核兵器廃絶と世界の恒久平和を求めて』をメインスローガンに、被爆地である広島と長崎で開催している。

長崎平和行動「原爆投下直後の様子を聞き胸を痛めた」

長崎の代表团は8日、『連合2013平和長崎集会』に出席した。第1部は「2015核兵器俯瞰さん条約(NPT)再検討会議に向けた課題と対応」と題し、広瀬訓長崎大学核兵器廃絶センター副センター長の基調講演が行われた。NPT(核不拡散条約)では、5年毎に会議を開き条約の運営状況を検討することが定められており、次回の2015年に開催される会議に向けた状況が説明された。第2部は「次世代への継承」をテーマに「被爆者の訴え」として奥村アヤ子さんから原爆投下直後の様子や被爆後の生活などが語られた。最後に「原爆を許すまじ」を合唱して閉会となった。

翌9日には、長崎平和公園で行われた「被爆68周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参列した。長崎市長の平和宣言について、新聞各紙は「平和宣言で政府を批判」と大きく報じていたが、平和宣言の中の「若い世代の皆さん、被爆者の声を聞いたことがありますか。

『ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ウオ、ノーモア・ヒバクシャ』と叫ぶ声を。あなた方は被爆者の声を直接聞くことができる最後の世代です。68年前、原子雲の下で何があったのか。なぜ被爆者は未来のために身を削りながら核兵器廃絶を訴え続けるのか。被爆者の声に耳を傾けてみてください。そして、あなたが住む世界、あなたの子もたちが生きる未来に核兵器が存在していないのか。考えてみてください。互いに話し合ってみてください。あなたたちこそが未来なのです。』は、強く印象に残った。

午後には、公園内に設けられた献呈台に折鶴を献呈し、その後、平和公園内に設けられた慰霊碑を巡るピースウォークに参加した。

夕暮れには、連合が主催する「万灯流し」に初めて参加し、平和への誓いを新たにしました。

最後に、この平和行動を通じて、連合本部や連合長崎の皆さんの献身的な努力に改めて感謝したい。



『連合2013平和長崎集会』の会場にて



連合主催の浦上川での万灯流し

安心して生きていく。自分も、家族も。

こくみん共済

個人型厚生年金・こくみん共済年金・国民年金基金・国民年金基金連合会・国民年金基金連合会

ZENROSAI NEWS

50周年
全労済 長野県本部

僕は、こくみん共済。

2012年は
国民年金基金
国民年金基金
国民年金基金
国民年金基金

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

ここに記されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」等を必ずご確認ください。

保障のことなら 全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

「親子ものづくり教室」(金属部門連絡会主催)

夏休み、親子でオルゴールを作りました

8月7日、20組47人の親子が参加(下諏訪「奏鳴館」)

金属部門連絡会(5産別)は、8月7日(土)午後、第7回の親子ものづくり教室を「諏訪湖オルゴール博物館～奏鳴館」で開催した。子ども27人とその親20人が、それぞれ選んだ楽曲のオルゴールを組み立て、音色を持ち帰りました。

7回の開催を迎えたものづくり教室
県内を巡回、2回目の南信開催
親子参加を職場の組合員に呼びかけ

今年の「親子ものづくり教室」は、諏訪大社秋宮前の「諏訪湖オルゴール博物館「奏鳴館」」にご協力をお願いして、オルゴール組み立てを教えていただくことになりました。2か月前から募集を始め、20組46名の親子が集まりました。子どもたちにとって夏休みの工作の宿題を片付ける機会であり、親にとってはレジャーを兼ねた親子の外出機会として定着したこの催しも7回を数えます。

飛び入り参加の1名を加えた47人の親子はそれぞれ自分で楽曲を選び、2班に分かれて奏鳴館の工房の熟練技能者の指導を受けながら、木箱ケースに組み



親子も苦労しています

つけるまでの工程を1時間ほどで終了しました。機械式のオルゴールは、シリンダーのピンと鍵盤の間隔の調整が難しく、0.4ミリの精度は子どもたちには(親にも)とても難しく、何度もネジ止めをやり直し、できた時の音には「ものづくり教室」らしい感動が見られました。

ものづくりの歴史を知る～奏鳴館
18世紀からのオルゴール演奏の展示

親子ものづくり教室は、金属部門連絡会が産業の現場を子供たちに見せることも目的にしています。子どもたちと工場見学をして、ものづくりの現場に触れてもらおうと計画しています。

「奏鳴館」では、日本電産サンキョー(旧三協精機)のオルゴールのコレクションを展示しています。一時は世界シェアの90パーセントを占めるに至った諏訪地方のオルゴール作りの歴史を案内の館員が語ってくれます。

ぜひ一度「奏鳴館」に行ってみてはいかがでしょうか。



オルゴールは英語でMusic Boxです

住まいの健康維持から快適空間の演出までトータルプロデュース

住まいについて悩んでいませんか?

- 浴室・トイレが古い
- 廊下が狭い
- 最新設備が欲しい
- などのお悩みをお持ちの方

リフォーム

こんなご時世、
って聞くとちょっと不安になりますよね。
そんな時は非営利団体の生協組織の
長野県住宅生協にご相談下さい。



「相談先がわからない」「業者は信頼できるか」
「費用は適正だろうか」などの不安や
心配をしている皆様の要望に応える為
「安心・安全・良質で低廉な事業提供」を
モットーに実施しています

住宅生協は組合員の出資で設立された非営利団体です。

長野県労働者住宅生活協同組合

本部 長野県知事(9)2490号

TEL.026-234-0283

T380-0838 長野市栗町523 とうきんビル7F jyusei@avis.ne.jp

ホームページもご覧ください

長野県住宅生協

http://www.jyusei.jp/

松本事務所

〒390-0841松本市湊1丁目2-1

TEL.0263-88-5061